

吉田かよこ

吉田かよこプロフィール

プロフィール

- 1962(昭和37)年渋谷区生まれ
- 小学校2年まで仙台白百合学園小学校で学ぶ
- 父の転勤で東京に戻り桐朋小学校に編入
- 桐朋女子中学校・高等学校卒業
- 日本大学理工学部数学科卒業
- 趣味：筋トレ、忍術、盆栽

経歴

- 大原簿記学校で学び平成元年税理士資格を取得
- 外資系及び国内会計事務所勤務
- 平成11年吉田佳代子税理士事務所開業
- 平成19年渋谷区議会議員初当選(4期目)
- 渋谷区監査委員、都市環境委員会委員長、交通公有地問題特別委員会委員長、区議団幹事を歴任

執筆

- H20年12月 よくわかる福祉事務所の仕事 共著
- H21年11月 これで納得社会保障制度 共著
- R5年 新書出版予定



公式HP



Twitter

新型コロナウイルス感染症が流行し、区民の皆様の健康への関心も高くなっています。コロナ禍でも、年に一度の検診は是非お受けください。特にがんは早期発見・早期治療により完治することができます。今回は区民の健康、女性の「痛み」、AYA世代の病気と支援についてご報告いたします。

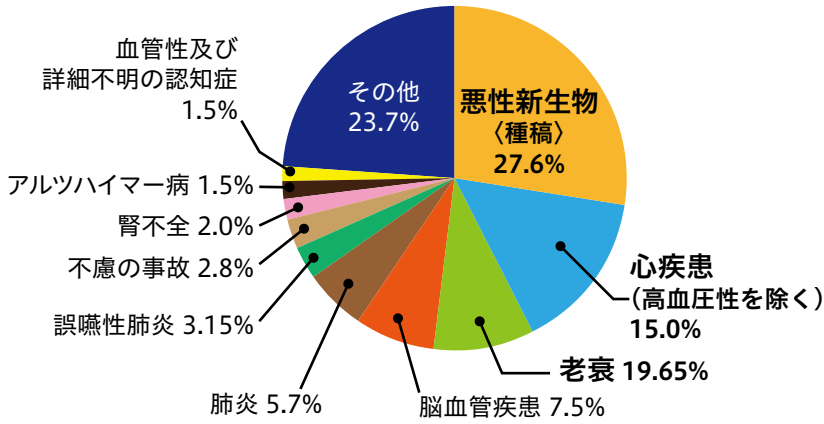
[TOPIC]

1

区民の健康対策

1 死因の構成割合

下図は厚生労働省が公表している2020年度の死因の構成割合です。1位は悪性新生物(がん)、2位は心疾患、3位は老衰です。老衰が3位というのは高齢化社会の象徴と言えます。



2 がんの罹患率第1位は男性が前立腺がん、女性は乳がん

① 日本人が一生のうちにがんと診断される確率

- 男性：65.0%(2人に1人)
- 女性：50.2%(2人に1人)

② 日本人ががんで死亡する確率

- 男性：26.7%(4人に1人)
- 女性：17.9%(6人に1人)

③ がんの種類別罹患順位

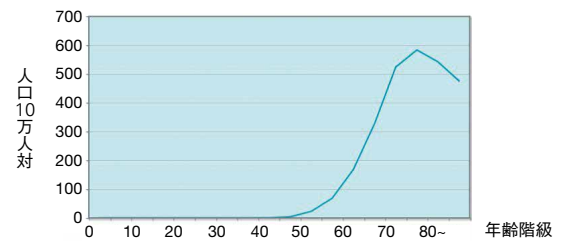
がんの種類別罹患順位は右記の通りで、1位は男性が前立腺がん、女性が乳がんです。

	男性	女性
1位	前立腺	乳房
2位	大腸	大腸
3位	胃	肺
4位	肺	胃
5位	肝臓	子宮

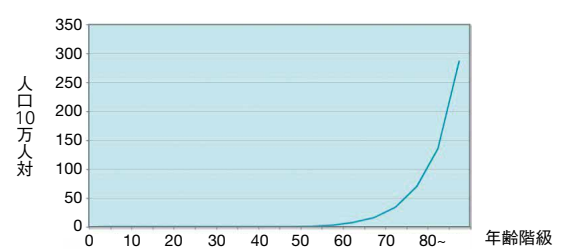
3 前立腺がんについて

2③のように男性が最も罹患するがんは前立腺がんです。前立腺がんの危険因子のひとつは「年齢」です。初期では症状がありませんが、次第に尿が出にくくなりトイレに行く回数が増えます。50歳を過ぎると罹患率が急激に増加するため、50歳を過ぎたら1年に一度検診を受けることが推奨されています。渋谷区では前立腺がん検診は実施しておらず、医師会が独自事業として他の検診の受診の際に1000円で行っています。医師会の独自事業ではなく区として前立腺がん検診を実施していくべきです。

年齢別前立腺がん罹患率



年齢別前立腺がん死亡率



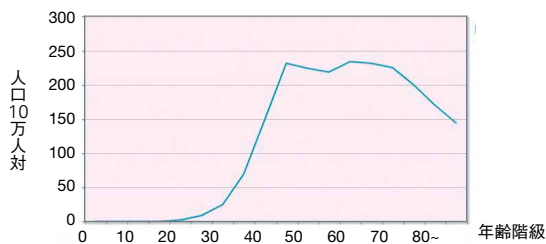
資料:国立がん研究センターがん対策情報センター

4 乳がんについて

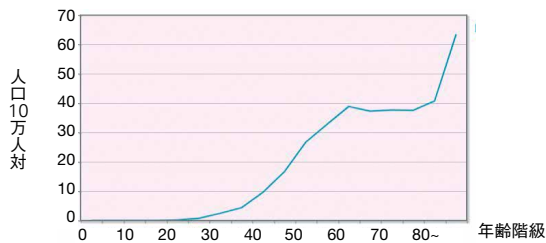
2③のように女性が最も罹患するがんは乳がんです。アメリカの乳がん発生率は7人に1人、日本では14人に1人で、先進国の中で死亡率が年々増えています。死亡率の高かったアメリカは、国を挙げて乳がん検診を普及させ、早期発見に力を入れてきました。その結果乳がん死亡率が20~25%減少しました。渋谷区では乳がんの検診率は25%でまだまだ低い状況のため、受診率向上に向け、より効果的な啓発が必要です。



年齢別 乳がん 罹患率



年齢別 乳がん 死亡率



資料:国立がん研究センターがん対策情報センター
Source: Center for Cancer Control and Information Services, National Cancer Center, Japan

5 渋谷区の予算

① 令和4年度(2022年度) 予算

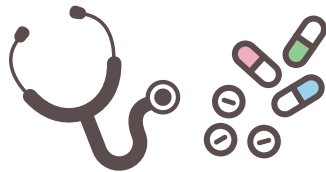
渋谷区の検診に関する令和4年度(2022年度)予算は下記の通りです。

- 健診等：1億6930万9千円
- がん予防検診：3億9203万5千円
- 国保加入者特定検診：1億1901万3千円

6 受診率

① 渋谷区を受診率

渋谷区のがん検診の受診率は右記の通りで、まだまだ低い状況です。



■ 渋谷区を受診率

検診名	男性	女性
胃がん	16.2%	20.3%
肺がん	11.2%	15.8%
大腸がん	11.9%	17.6%
乳がん	-	25.0%
子宮頸がん	-	17.4%

7 課題

① 受診率の高い港区との比較

近隣区港区の受診率は右記の通りです。他区と比較しますと、格段に受診率が高い状況です。

その要因は何でしょうか？港区を調査すると検診の種類が格段に多く充実しています。そのため、区民の健康への意識が高いのではないのでしょうか。

■ 港区を受診率

検診名	男性	女性
胃がん	40.2%	49.1%
肺がん	23.6%	34.3%
大腸がん	24.5%	38.0%
乳がん	-	35.3%
子宮頸がん	-	33.5%

② 検診の種類

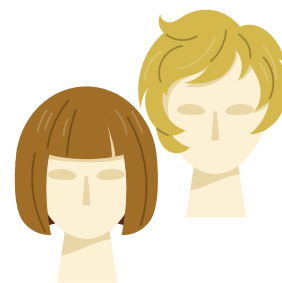
下記の検診は今後渋谷区の検診に追加していきたいものです。港区ではすでに導入済みです。

骨粗しょう症検診は、腕だけ測定する簡易なものではなく、きちんと全身の検査を行い早期発見することで治療が可能です。前立腺がん検診は、男性のがん罹患率1位で50歳以上の方は注意が必要な病気です。検診による早期発見が大切です。

- 骨粗しょう症検診
- 前立腺がん検診

③ 医療用ウィッグと乳房補正具の助成

がん治療によりそう制度として、下記助成を行う自治体が増えていますが渋谷区にはこの制度はありません。この制度ができるよう取り組んでまいります。下記金額は他自治体の一般的な金額です。



- 医療用ウィッグ：30,000円
- 乳房補正具 左右：20,000円ずつ

[TOPIC]

2

女性の「痛み」を 解決したい

女性は人生において痛い思いすることが多いです。立憲民主党の塩村あやか参議院議員は「女性政策」として下記に取り組んでいます。私もその政策を区政において後押しをしていきたいと考えています。

- 無痛分娩助成
- 痛くない乳がん検診
- 流産・中絶経口薬の導入
- 生理痛の理解促進と相談体制の構築
- 不妊治療助成の拡充



塩村あやか参議院議員

[TOPIC]

3

AYA世代の がん患者支援について

AYA世代のがん医療体制の整備が取り組むべき課題に挙げられています。渋谷区ではまだ独自施策はありませんので、今後取り組んでいくべき大きな課題です。下記は東京都が行っている妊孕性温存治療費補助制度です。

1 妊孕性温存治療費補助(東京都の制度)

東京都では、がん等の治療による生殖機能の低下を考慮し、43歳未満の方を対象として生殖機能の維持のための生殖機能温存治療費助成事業が行われています。

対象となる治療	1回の助成上限額
精子凍結	5万円
精巣内精子採取術を伴う精子凍結	35万円
卵子凍結	30万円
胚(受精卵)凍結	40万円
卵巣組織凍結	70万円
卵巣組織再移植	60万円



2 若年がん患者在宅療養費助成制度(各自治体の制度)

多くの自治体が40歳未満の若年がん患者に対して自治体独自の支援制度を行っていますが、渋谷区ではこのサービスがありません。介護保険と同じようにホームヘルプサービスが受けられるよう導入に向けて取り組んでまいります。

